

国語の全体概要

全般に高い正答率でした。特に「漢字の読み」領域では完全正答でした。観点別でも「話す・聞く」と「書く」に高い正答率が得られました。反面「語句に関する知識」の領域は他領域と比較すると正答率が若干下回りました。

国語の調査結果について		今後の対応
話すこと 聞くこと	聞いた事柄を基に分からない点や確かめたい点を質問する選択式の設定問や、確かめたい点を質問する記述式の問題では高い正答率を得ることができました。反面、必要な事柄を取材してまとめる内容の問題に理解不足が見られました。	国語の授業とは別に引き続き毎週木曜日に特設の時間（国語タイム）を設けて習熟を行っていきます。また、家庭での宿題の確実な取り組みの習慣化に向けて指導を行っていきます。
書くこと	間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりすることを問う短答式の設定問で高い正答率でした。また、目的や必要に応じて表を取り上げて書くことや、表現を検討することの選択式問題でも高い正答率でした。	書かれている内容を読み取り記述する力をつけるために、読むことと併せて、書くことの指導も行い、理解を高める学習活動を図る必要が判りました。
読むこと	場面の様子がよく分かるように工夫して音読することや、事実と意見とを区別して読むことに関する問題では十分な理解が得られました。選択式の設定問で目的に応じて中心となる語を捉える問題は理解不足でした。	普段の読む、書く、話す聞く学習活動と共に、日ごろから文章に慣れ、ふれる学習習慣の定着を図るための指導として読書活動の推進を図ります。
言語事項	漢字を正しく読むことや、書くことが求められた設問では高い正答率でした。国語辞典の使い方の理解や、単語をローマ字で書くことに理解の不足が確認できました。	この結果を踏まえて、既習の漢字も含めて正しく読み書きができるように、作文指導と合わせて、国語の授業とは別に引き続き毎週木曜日の昼の時間に習熟のための指導を実施していきます。

算数の全体概要

「量と測定」の領域では概ね高い正答率を得ることができました。反面、「数量関係」を問う問題では正答率が県平均を下回る結果となりました。観点別での「技能」は概ね理解できていましたが、十分な理解が得られなかった「数学的な考え方」を高めるためには基礎的な知識の習得とともに、思考力を高める学習と技能を修得する必要が確認できました。

算数の調査結果について		今後の対応
数学的な 考え方	複合図形の面積を求める問題や、示された情報を基に角の大きさを求める問題では高い正答率でした。反面、伴って変わる数量関係の問題では理解不足でした。	基礎的な知識の習得とともに、思考力を高める学習指導を行います。 今後は学年の単元で理解不足な部分と合わせて補充指導を計画します。
技能	四則計算や分配法則を使って計算を工夫する問題や、表を読み取ったり、表を用いて表す問題では高い正答率でした。折れ線グラフの変化を読み取る問題に理解の不足が確認できました。	算数科での基礎的な技能を高めるために、引き続き必要に応じて朝の時間でスキルタイムを行います。また、家庭学習では宿題で基礎的な内容を習得することで学力向上に役立てていきます。
知識理解	小数の意味と表わし方や、長さ、面積の単位の設問には高い正答率でした。位取りの記数法や、展開図から立体の辺や面の垂直関係を問う問題に理解不足がみられました。	今の学年で身に付ける必要がある基礎的な知識との習得と合わせて、既習内容の知識について授業の中で反復して学習し理解を確実なものにします。

国語の全体概要

「書く能力」の設問では自分の考えを明らかにする問題で高い正答結果が確認できました。また言語についての知識・理解・技能では高い正答率を得ることができました。反面、話を聞いたことを基に書く内容の設問に対して理解の不足が確認できました。

国語の調査結果について		今後の対応
話すこと 聞くこと	目的や意図に応じて収集した情報を関係付けて話し合うことや、質問の意図として適切なものを選択する問題は高い正答率でした。話し手の意図を捉えながら聞き、展開に沿って質問する問題は県平均を下回りました。	今後とも話し手の意図を捉えながら聞くことや、自分の立場や意図を明確にして話し合う学習活動を取り入れた指導を行っていきます。
書くこと	目的や意図に応じて表を基に考えを書いたり、活動報告文から課題の効果として適切なものを捉える問題で高い正答率でした。目的や意図に応じてグラフを基に自分の考えを書く問題で理解の不足が確認できました。	文章を目的に合わせて効果的に書くことや書かれている内容を読み取り記述する力を高めるために文章に慣れる学習活動を行います。
読むこと	目的に応じて図と表とを関係付けて読むことや、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫することなど、文章の内容を的確に押さえて読む設問で高い正答率でした。	「話す・聞く」「書く」学習活動と共に、多読者表彰などで1人100冊単位の読破の目標を設定し読書活動の推進を図ります。
言語事項	漢字を正しく読んだり、書いたりすることや、文字の大きさや、配列を決める問題では高い正答率でした。平仮名の表記をローマ字で書いたり、ローマ字表記を正しく読む問題での正答率が他の設問と比較すると若干、下回りました。	この結果を踏まえて、既習の漢字も含めて正しく読み書きができるように、国語の授業とは別に毎週木曜日の昼の時間に記述内容を読み取り、書く力をつける（国語タイム）を計画的に実施しています。

算数の全体概要

「数と計算」領域の設問では高い正答率の結果を得ることができましたが、図形に関する今回の問題では理解の不足がありました。また、「技能」や「知識理解」をもとに課題を解決するために必要な「数学的な考え方」を問う観点の設問にも理解の不足が確認できました。

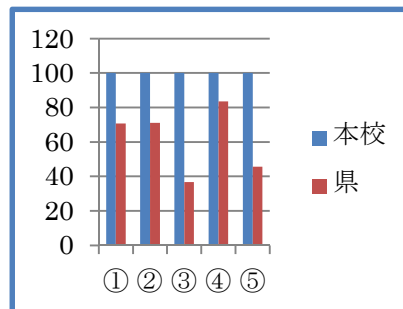
算数の調査結果について		今後の対応
数学的な 考え方	単位量当たりの大きさを求めるのに必要な情報を判断し、特定する問題では高い正答率が得られました。図形を構成する角の大きさを基に形を判断したり、式の意味の説明を記述する問題に理解不足が確認できました。	授業のなかで、自分の考えをもつ時間とともに、理解したことの定着を図る時間を確保し確実に学習理解ができるよう取り組みます。
技能	繰り下がりのある減法の計算や分数の乗法計算と約分などの四則計算を問う問題で高い正答率でした。また、数の関係を式に表わす問題においても十分に理解していることが確認できました。	計算領域での基本的な内容の習得が十分でない児童には反復学習で基礎をしっかりと身に付けて基本と応用の両面に対応できる力を育てていきます。
知識理解	割合の意味についての理解や不等号を用いて数の大小関係を表す問題では高い正答率でした。小数の除法の確かめを乗法を用いて得ることに理解の不足がありました。	算数科の基礎的な技能を高めるために、引き続き朝の時間でのスキルタイムを行っていきます。宿題は、基礎的な内容を着実に習得するための課題であり、家庭への啓発も引き続き行っていきます。

生活習慣に関する「質問紙（意識）調査」から

5年生

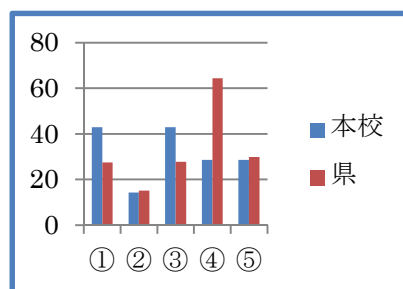
【数値が特に高かった項目】

	調査の項目
①	人の役に立つ人間になりたいと思う。
②	将来の夢や目標をもっている。
③	授業では自分の考えを発表する機会が与えられていると思う。
④	朝食を毎日食べている。
⑤	今住んでいる地域の行事に参加している。



【数値が特に低かった項目】

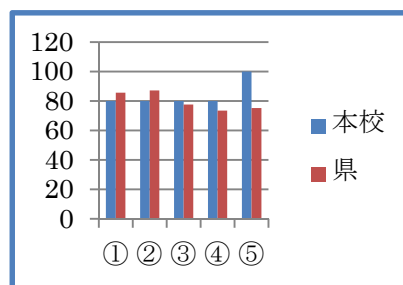
	調査の項目
①	自分で計画を立てて勉強をしている。
②	学校の授業の予習をしている。
③	苦手な教科の勉強をしている。
④	電子黒板やパソコンを使った授業を受けるのは楽しみだ。
⑤	新聞やテレビ、インターネットのニュースを読んだり見たりしますか。



6年生

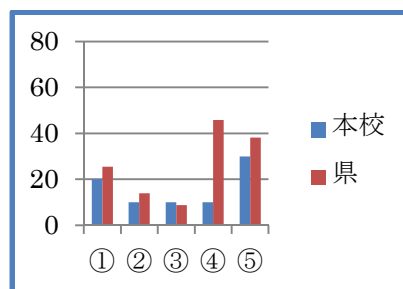
【数値が特に高かった項目】

	調査の項目
①	朝食を毎日食べている。
②	学校の宿題をしている。
③	好きな授業がある。
④	人の役に立つ人間になりたいと思う。
⑤	授業で扱うノートには学習の目標とまとめを書いていたと思う。



【数値が特に低かった項目】

	調査の項目
①	難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦している。
②	学校の授業の予習をしている。
③	新聞を読んでいますか。
④	学校のきまりを守っている。
⑤	人が困っているときは進んで助けている。



〈学習習慣について〉

- 家庭学習の定着と基本的な学習習慣の確立のために、家庭と児童に配布する「家庭学習の十カ条」の活用を継続して行います。とりわけ宿題は、基礎的な内容を着実に習得するための学習課題と捉え、学力向上のためには各家庭での取組の必要性について保護者への説明と協力について重ねて依頼します。

〈生活習慣について〉

- 児童のほとんどが「朝ごはんを毎日食べている」ことが分かりました。「早寝・早起き・朝ごはん」や「家庭学習の定着」など、よりよい生活習慣を身につけるために「家庭教育指針振り返り表」による生活習慣の改善に向けた取り組みを家庭と連携して行います。また「学校のきまり」や「生活目標」の指導を推進していきます。

〈自分を見つめる心について〉

- 「将来の夢や目標をもっている」という意識は高く、今後も自分の役割や責任を果たすことで、人のために役立つ喜びが実感できるように、自己肯定感や自尊感情を高めていきます。さらに全教育活動を通して「心育て」のために道徳教育を推進します。